

# Hand in Hand

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚——それは旅の半ばの一つの出来事。  
新たな旅立ちをした女たちはいま手を取り合い、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。  
ハンド・イン・ハンドは、生きやすい社会をめざし支えあう女たちの、流木である。

Vol.232

逐次刊行物

19.1.-5

女性教育会館  
女性教育情報センター

## 〔新春おめでとうございます〕

★みなさま、お元気で新年をお迎えになったでしょうか。今年、私は年女。そう猪突猛進でここまで来ましたが、ちょっとゆっくり歩こうと、この頃は思っています。フフ、何回目かの年女かのご想像にお任せします。なんて、言わなくてもわかっちゃってますね。

★さて、新年早々、こんな話はしたくないのですが、今、生活保護世帯が100万を超えています。バブル崩壊後の長いデフレ不況の中で、会社の倒産、リストラ等で職を失った人たちが高齢や病気になって生活保護を受けざるをえなくなったのです。健康で必死に働いている人も、短期契約と低収入の非正規の職が多く、不安な生活を余儀なくされています。

★私は1979年から母子家庭等の支援をボランティアで続け、国会議員としても就労支援策を作るなどしてきましたが、政府は今年から生活保護の母子家庭加算をなくすことを決定しました。一人当たり月額約2万円が政府にとってどれだけの意味があるのかと怒りを感じます。母子家庭にとっては子どもの教育に必要な大きな額なのです。

★忘れてならないのは、生活保護世帯に占める母子家庭の割合は約9%に過ぎず、決して高くないことです。母子家庭100万世帯のほとんど(83%)は自分で働いて子どもを育てているのであり、その8割は生活保護世帯より低い収入でも、生活保護を受け取らずに暮らしているのです。このようなワーキングプアの典型である母子家庭を見捨てるような形で、「経済の活性化のために」というお題目を唱えて、法人と金持ち優遇に走る政府を許すわけにはいきません。1兆円もの減税のほとんどは大企業向けです。

★私は、昨年3月3日の参議院厚生労働委員会で、厚生労働大臣や財務省に対し、負の所得税(課税最低限以下の低所得者を勇気付ける税制。所得控除制度を税額控除制度に改め、控除しきれない控除額についてはその額を給付する制度)を取り入れるべきと主張しましたが、今回、民主党がそれを基本政策にしてくれました。まじめに生きる個人と小さな企業をしっかり応援していきます。

(円より子)



寒さに負けず  
天に向かい  
葉も伸ばす  
大根よ  
偉いねえ  
私もがんばる  
元気に外へ  
飛び出そう  
今年も  
がんばろう  
気がするよ

●Hand in Hand 第232号 【発行日】2007年1月1日

【発行人】ハンド・イン・ハンドの会(代表 円より子): (株)現代家族問題研究所内

【編集人】向井通江 長島千春 藤岡郁子 【印刷】(株)ニシカワインフォメーションサービス

【連絡先】〒102-0082 千代田区一番町4-42-6F TEL:03-3261-1835 FAX:03-3261-1836

http://www.madoka-yoriko.jp/ http://www.gendai-kazoku.jp/ nojiri@kazoku-mondai.co.jp

◎ 母子世帯の生活の変化調査結果報告 ◎

## 経済的不安は、正規雇用に結びつく就労支援で解消を！

アンケートにご協力ありがとうございました

ハンド会報230号(06年9月1日発行)でお願いした「母子世帯の生活の変化調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

この調査は、私の知人である藤原千沙さん(岩手大学助教授)が、阿部彩さん(国立社会保障・人口問題研究所)や田宮遊子さん(神戸大学講師)と、厚生労働科学研究費補助金を受け、「日本の社会保障制度における社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)効果の研究」の一環として、母子世帯の生活が母子世帯になってから時間が経過するにつれてどのように変化するかを調査することを目的に行ったものです。

現在の生活を「苦しい」と感じている方が68%。母子世帯になった当初に比べ、食費や教育費、医療費、住宅費などの支出がどんどん増えていっているのに対して、勤労収入は伸び悩んでいる苦しい母子世帯の実態が浮き彫りにされました。

この貴重なデータや、みなさんの生の声を政策提言の場で生かして、母子家庭を見捨てるかのような現政権による制度改革へ、断固としてNOを突きつけていきますね。



円 より子



ハンドのみなさんからの回答117通の他、NPO法人WinkやNPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ等、全8団体から486通の回答がありました。

内訳は、18歳以下の子どもがいる母子世帯が415件、19歳以上の子どもがいる寡婦世帯が58件、再婚者11件、不明2件。再婚者を除く475件を集計、分析された速報が届きましたので、ご報告します。

### ●回答者は意識が高く、全国平均より高学歴

回答者の年齢は、40代が44.6%とトップで、30代が36.2%、50代が12.4%と続き、平均年齢は41.6歳(母子世帯39.8歳、寡婦54.1歳)です。

子どもの人数は平均1.7人(母子1.7人、寡婦1.9人)で、末子年齢は平均11.2歳(母子9.3歳、寡婦24.4歳)でした。

両親等と同居している母子世帯は27%で、独立母子世帯が73%。

母子世帯になった理由は、2003年全国母子世帯等実態調査(厚生労働省)と比べると、離別80%、別居8%、非婚8%と生別が圧倒的に多く、死別は全国の12%に比べ2%でした。

学歴は中卒が2%、高卒31%、短大・高専21%、大学・大学院が28%であり、2001年母子世帯の母への就

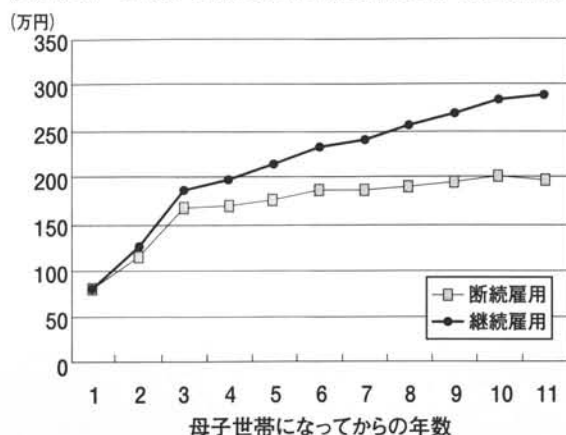
業支援に関する調査(日本労働研究機構)でのそれぞれ13%、49%、16%、7%と比べ、学歴が高く、そのため、勤労収入も2003年全国母子世帯等実態調査の162万円に比べ、227万円と高くなっています。

しかし、就業形態は、2003年全国母子世帯等実態調査が常用雇用者39.2%、臨時・パート49.0%、派遣社員4.4%であったのと比べても、正規雇用37%、週35時間以上のパート・派遣・臨時27%、短時間労働26%と、不安定雇用には変わりありません。

### ●経済状況——勤労収入は1年目から3年目までは急増するが、それ以降は伸び悩む

母子世帯の母親の勤労収入は、勤続年数や学歴、末子年齢などに大きく影響されています。母子世帯となつてからの期間の純粋な影響だけをみると、期間が長いほど勤労収入も高くなりますが、「30歳、末子年齢が3歳の時に母子世帯となった高卒の母」をモデルケースとした推計によると、母子世帯となった1年目から継続して勤務している場合と、契約社員などで1年ごとに断続して勤務している場合では大きな差が見られます。断続雇用の場合、所得は3年目までは上昇するものの、その後の上昇はわずかです。そして母親の年齢が高い場合は、上昇の度合いがさらに少なくなります。

《モデルケース：母子世帯になった年齢30歳、末子年齢3歳、高卒》

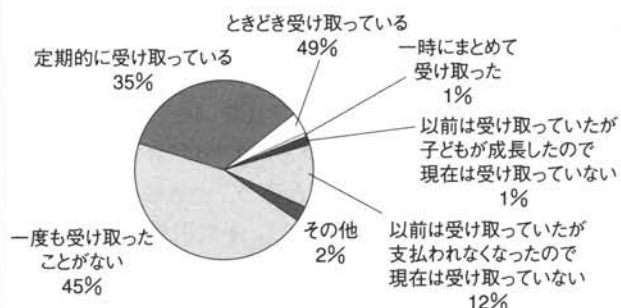


また、同じ人の勤労所得を追うと、母子世帯になった1年目から5年目に所得が上がった人は76%、下がった人は13%（変化なしが11%）。5年目から10年目では勤労所得が上がった人は51%、下がった人は31%（変化なしが18%）でした。

しかし、継続雇用でも、高卒だと10年目でも「夫婦と子ども世帯」の1/4の年収に過ぎません。断続雇用、継続雇用に関わらず、母子世帯になってから3年目以降は勤労所得は伸び悩むことが判明しました。

養育費については、当事者団体に入っている人は意識が高いのか、調停等できちんと取り決めている人が多く、受け取ったことがある（55%）も全国の統計（33.1%）より高くなっています。でもそのうちの12%で養育費の支払いが滞っていて、定期的に受けている世帯の約18%は養育費の額が減っています。

《養育費の受け取り》



児童扶養手当は母子世帯の74%が現在も受け取っています。受け取っていない世帯（26%）のうち11%は過去に受け取っていましたが、今は受け取っていません。一度も受け取ったことがないのは15%でした。

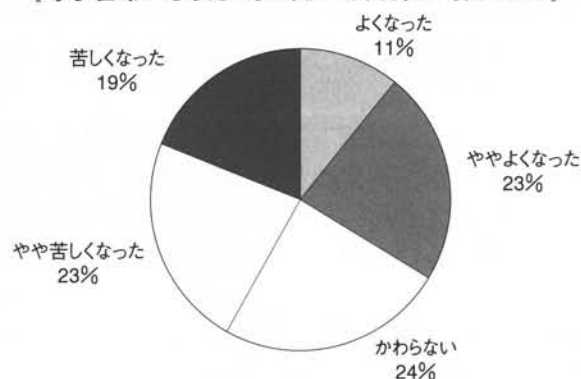
生活保護については、回答者の6%が現在も受給中で、3%が過去に受給経験がありました。

## ●母子・寡婦世帯の生活の変化

現在の暮らしについては、平成16年国民生活基礎調査の「全世帯」の「苦しい」23%、「やや苦しい」33%に比べると、本調査の母子世帯はそれぞれ33%、35%と高く、「普通」は前調査の「全世帯」39%に対して25%と低い数字です。

また母子世帯になったころに比べて、現在の暮らしは、回答者の41%が「苦しくなった」、35%が「よくなった」、24%が「変わらない」と感じています。

《母子世帯になったころに比べて、現在の暮らしは？》



「苦しくなった」「やや苦しくなった」の理由（複数回答可）は、「子どもが大きくなってお金がかかるようになった」（72%）が圧倒的に多く、支出面での増加に並行して、「勤労収入が下がった」（42%）、「貯金や保険金等の蓄えがなくなった」（35%）、「児童扶養手当をもらえなくなった、あるいは金額が下がった」（30%）、「養育費がとぎれた、あるいは下がった」（18%）の収入面での減少があげられています。また、「勤労収入が下がった」に加え、「仕事が大変になった」（22%）を挙げる人も多く、労働条件の厳しさが母子世帯の生活を苦しめています。

支出面の増加については、食費は58%が増加し、母子世帯になって5年以上経った世帯では増加が60%を越えています。

住宅費は28%増加しており、引っ越したくても子どもの学校を変えたくない、経済的に引っ越せない実情が伺えます。

教育費は74%が増えたと回答、特に母子世帯歴が5～10年未満の人は82%と、子どもの成長に伴い支出増加要因になっています。

医療費は36%が増加、特に母子世帯となってから期間の長い人に増加が多くなっていて、本人の加齢により健康を損なう人が多くいました。





## ●正規雇用結びつく 実効性のある就労支援が緊要

今回の調査では全国統計より学歴や勤労収入が高い結果が出ましたが、高卒では正規社員でも年収245.8万円と児童扶養手当の所得制限以下です。大卒でも非正規では、週35時間以上で201.4万円、週35時間以下では140.8万円とやはり低く、生活保護水準以下の生活

に置かれています。

厚生労働省は就労支援の施策を行ってはいますが、教育訓練であったり、ハローワークに母子家庭専用の相談員をおいた就職相談であったりと、実際に正規雇用には結びついていません。来年には児童扶養手当を削減しようとしています、正規雇用に確実につなげる実効性のある就労支援策を講じる方が先ではないでしょうか。

## ◎今後の生活の心配事（自由回答欄より一部抜粋）◎

お金、仕事、健康、子どもの教育、親の介護、自身の老後……心配の種は尽きません。自由解答欄には、ハンド会員たちの、心配で不安な状況や思いが溢れんばかりに書き込まれていて、ここでご紹介するのはそのほんの一部にすぎません。

でも、心配や不安と上手に寄り添ったり、またはエネルギーに乗り越えていらっしゃる方もたくさんいらっしゃる、知っています。今度は、その体験談を紙面でご紹介し、参考にさせていただくことができればいいなと考えています。（右ページの囲みを参照）



●今後、子どもの**教育費**にどれくらいかかるのかが、とても不安です。勤労収入は減少するばかりで、日々の生活は何とかできていますが、貯蓄ができず、子どもが高校などに入学したりする時などのまとまったお金がなくて、とても不安なのです。（35歳）

●児童扶養手当を当てにして、パート収入とで子ども2人と生活しています。一人で子どもの病院、学校行事等参加していると、**パートで働くのが精一杯**。仕事を増やせば、ひずみは子どもへといくことは容易に想像できます。法律の見直しは母子家庭に大きく影響を与え、生活を苦しめることになるのは予想されるでしょう。弱者への対応をしっかりとして頂きたいですね。（35歳）

●上の娘に先天性の病気があることが今年になってわかり、**治療費**が今後もずっと続くこと。下の娘も中学に進学し、**塾代**なども増えること。現在仕事で行き詰まっており、**転職**をするために資格や技能が必要なこと。自身も加齢を重ね、体調が思わしくないこと。（42歳）

●**自己破産**しそうな収入と支出です。今後の生活が本当に心配。勤務先は閉店しそうな業績悪化だし、娘の学校は育英会は対象にならずますますお金がかかるし、児童扶養手当も医療費無料も**打ち切り**だし、等々、ヘルニアはよくならないし、仕事の掛け持ちをしようにも年齢とか条件とかでなかなか見つかりません。（45歳）

●子どもが中学生になり教育費と食費が増えましたが、収入は伸び悩んでいます。会社も経営状態が不安定ですが、年齢を考えると転職する勇気がありません。相続で住宅ローンを抱えていて、子どもが大人になっても払い続けなくてはいい位あり、子どもが相続しなければならぬと思ひ、申し

訳なく思っています。昨年残業が増え、**児童扶養手当の所得制限**にひっかり、今年度はほんの1~2万円のオーバーで、支給ゼロ。今後児童扶養手当は期待できないのでしょうか。（43歳）

●子どもたちが大きくなっていくに伴って諸支出が増え、自分は正職員を見つけましたが、体がしんどく、毎日の仕事、家事、育児で精一杯。義務教育が終わり、どのような支援が受けられるか（あるのか）、パソコンなどもなく**調べ方もわからず**、おまけに児童扶養手当の減額なんてあり得ません。親も年老いていき、なんて親不孝なんだろうと思ったり、**円形脱毛症**も進行していて、子どもたち3人は思春期に入り、なかなか**前向きに考えられません**。（42歳）

●今の会社はいつまであるかわかりません。子どもにもますますこれからお金がかかります。同居の親のこれからの不安。子どもが自分の将来をきちんと考えないところもあります。会社の都合ですぐに**リストラ**されますが、年齢的に次があるかどうかかわからず、死にたいと思うことも多くて落ち込んでいます。私には将来なんてなくて、その日暮らししかなく、**楽しいことが一つもない**。どうしたらいいかわかりません。（45歳）

●昨年母が狭心症で倒れたため、仕事を休み病院へ通い、全部の家事をしなければならなくなりました。パートなので収入がなくなり、その間は貯金を下ろして子どもの教育費等をまかしていました。その時、私の弟が、弟の家族には負担をかけたくない、私にかけるとは思っていることも知りました。今後も両親のどちらかが入院した時、私は働けなくなり、収入がなくなると思うととても不安です。父の年金が下がり、介護保険料、住民税、所得税、国民健康保険料

が大幅に上がってしまい、両親の生活が苦しくなってきた、両親は私と子どもに出て行ってほしいようです。私の収入だけでは子どもは養っていけず、どうすればいいのでしょうか。その他にもいろいろなことが重なり、心臓発作を何度も起こしています。それで仕事を辞め検査を受けているところですが、検査後、すぐ働き始めるつもりでいます。こんな状態で、児童扶養手当を減らされてはどうやって生活していけばいいのでしょうか。**母子で親と同居している世帯も苦しい状況になっている**ところは、私以外にもたくさんあると思います。こういう現実も国会議員の方たちに知って欲しいと思います。(46歳)

●年金をかけるお金がなく、未納になっているので、老後が不安。**国民年金を分納でやっと払っている**状況です。生命保険もかけていないから、精神不安定状態です。(52歳)

●今の仕事が無くなったらどう生活していくのか。年金の額も少なく、**今の政治を見ていたら長生きはできません**。息子(障害を持っている)も生活していけるのかと悲しくなります。児童扶養手当の減額などとてもないことです。(53歳)

●年々収入が減ってきており、老後の貯蓄が続けられなくなる日が近くなっていることが心配。大学生の娘が社会人になるまでまだ、少なくとも1年半あります。病気で入院などの状態になった時のことを思うと不安です。**アルツハイマ**

**一の母の世話**をしなくてはなくなるかもしれない不安と、その場合は仕事を続けられないかもしれないので、生活費の不安など、様々な心配があります。(53歳)

●**息子は長く引きこもり**、ずっと恐怖の中にいます。やっと仕事に就きましたが、息子に振り回され、安眠できず、体調を崩し仕事を辞めました。体調が悪く働くところではないんです。夫からの生活費8万と預金を下ろし生活しています。息子は入院しましたが、医療費が大変。家を早く売ろうと思っています。今後の息子の生活と自分の経済や健康に不安を感じています。(61歳)

●仕事がハード過ぎる上に給料が安く、鬱状態、不眠になってしまったため、正職員から契約社員に転職しました。自分自身の体のこと、子どもの進学のお金を準備できるのか、生活に追われている中でまっとうに育て上げられるのか、自分の老後、親の介護など、**心配事は山ほど**あります。

**「私は こうしました」といった情報を複数例教えていただきたい。**(43歳)

……この“声”を受けて、

**『心配や不安との寄り添い方』または『乗り越えた』体験談をぜひお寄せください。**

電話などで20～30分、インタビューさせていただけの方、事務局へご連絡ください。

メールやFAXもお待ちしております。

## 弁護士二一〇番

不貞の証拠は……



《回答者》  
弁護士 松山理香  
06-6131-5610

**Q**

夫(58歳)が2年前から不貞を働いていて、1年ほど前にそれがわかりました。私が追求したところ、夫は「もう別れた」と言っています。携帯電話のメールもロツクしていません。大学生の下の子の学費もかかりますし、年金分割や財産分与、慰謝料など、なるべくいい条件で離婚したいと思っています。きちんとした証拠をつかみたいと思います。

調停や裁判になった場合は、どんな証拠が必要になるのでしょうか。また、どんな風に証拠探しをすればよいのでしょうか。

**A**

不貞行為の立証をするのは、確かに難しいことが多いですね。

調停は、お互いの話し合いで合意に至ることを目指す手続ですので、どちらかと言えば、証拠を突きつけて不貞行為を認めさせて話を進めるというよりも、明確にしないまま、解決金などという形で合意をすることも多いようです。

しかし、裁判になった場合は、不貞行為の事実を争われた場合は、証拠が必要になってきます。

どんな証拠が必要かということですが、裁判官が不貞行為があったと認め

るに足る証拠といふことになります。客観的なものがあるのが望ましいですが、ない場合は、あなたの陳述書や本人尋問で立証することになります。

現在、夫は、別れたと言っているということですが、過去のことであったも不貞行為を認めているのですから、少なくともそのことについての謝罪文や念書を書いてもらっておいの方がいいでしょう。あなたの前や調停で認めていても、裁判になった途端に、否定することもあるからです。

夫や不貞の相手方が書いた文書は、有力な証拠になります。

その他にどのような証拠が入手できるかは、それぞれのケースによって違ってきますので、弁護士にご相談されるといいと思います。

また、ハンド・イン・ハンドの会の集まりでは、いろいろな経験者から、こんな証拠を入手したという話を聞きますので、一度、ハンド・イン・ハンドの会の集まりに行かれるのもいいと思います。

何も証拠が収集できなさそうだといいときも、諦めないで下さい。夫の行動や怪しいと思ったことなどを、日記につけておくというの1つの方法です。あなたがつけた日記でも、継続してつけていれば、有力な証拠になる可能性があります。

## 《家計簿公開》

第161号 東京都 F・Kさん

[家族構成]

私 57歳(求職中)

同居の息子が昨年、結婚して独立

### 《家計簿内訳・2006年11月分》

#### ★収入★

受取地代	37,000円
失業保険	51,000円
預金引出し	32,000円

合 計 120,000円

※財産分与された土地から年間入る収入から固定資産税を引き、12ヶ月で分割。

※5月に退職。給付された失業保険料金90日分を6～12月で分割して収入に計上。

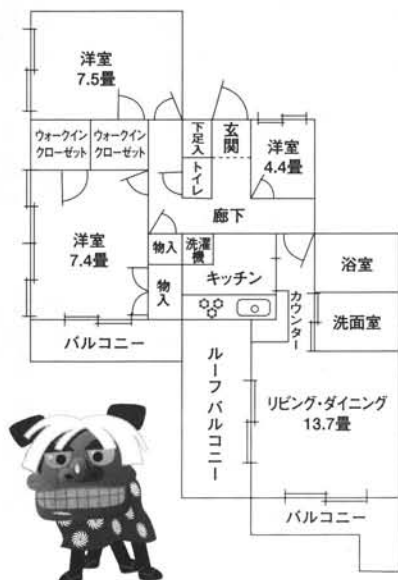
#### ★支出★

国民年金等	14,000円
国民健康保険	9,000円
食費	30,000円
マンション管理費等	30,000円
水道・光熱費	10,000円
通信費	5,000円
医療費	8,000円
交際・娯楽費	8,000円
雑費	6,000円

合 計 120,000円

※他に年払いの火災保険、固定資産税など。

[住居] マンション(持ち家)



## いろいろあれど、円満離婚。 行動を起こせば、出会いがあると信じて。

### ◎夫が借金体質とは知らず…

もしかしたら、ボタンの掛け違いは結婚当初からわかっていただに、気づかずにいようとしていたのかもしれない。厳格な実家、なにかと私をコントロールしたがる母の手から逃れたくもあって、友人の紹介で知り合って4ヶ月で結婚。私が25歳、夫が30歳の時でした。ちょうど同時期に、夫は起業した親戚の誘いでそれまでの会社を辞め、営業所を任せられました。5人でスタートした会社を25年後には200人規模に大成長させたのですから、営業能力は高い人だと思います。ただ、お金の管理能力は甘いとかわかっていたお義父さんが、結婚前に「大雑把な奴だけれど、それでもいいか」と念押しされた言葉を、もう少し真剣に受け止めればよかったかもしれません。

結婚当初は、それまでの自分の家庭環境との対比もあって、なんて気楽で楽しんだらうと思いましたが、最初に「？」と感じたのは、薄給の中で積み立てていたお産の費用を持ち出された時です。結婚前から借金を抱えていたようで、その穴埋めに使ったことが不用意に置いてあった受け取りから容易に窺い知れました。子どもが保育園に入った頃には、継続的に借金を返済していることは確信に変わり、その時点で「この人はお金にルーズな人だ」と割り切って、いつどうなってもよいように資格を身につけようと思った。パートなどで働いて授業料を貯めては勉強するという繰り返しで、簿記一級資格を取りました。「いまに見ている」という気持ちもありましたね。

決定的だったのは、子どもが中学生の頃に、金額のかなり大きい借金が発覚したこと。私の実家からもお金が出ている共同名義の土地を、勝手に私の判も押して担保に入れ、投資目的でゴルフの会員権を2つ買ったのです。「俺の稼いだ金で子どもの将来のために買ったんだ。文句あるか」といった態度で、この出来事がさらに私の資格取得熱に拍車をかけて、税理士試験を目指し始めました。

その頃の夫は、会社が急成長していて多額の交際費は現金渡しきりで使いたい放題。まかされていた海外部門ではリポートを現金で受け取り、親族である経営トップに横流しをしていました。その経営トップが亡くなった後、1年間、それをそっくり自分のポケットに入れていたことが発覚。会社を

クビになり、使い込んだお金は借金となりました。今から4年前、私が53歳の時でした。

### ◎離婚までの泥沼の3年間

実は、その3年前の50歳の時に私の気持ちは爆発して「夫の老後を看たくない」という気持ちが一気にお腹の底から湧き上がって、離婚を明確に意識するようになっていました。それまでもいろいろ葛藤はありましたが、誰にも言わず心の中に封じ込めていたんですね。引き金になったのは、就職して一人暮らしを始めた長男が、夫と同じように借金をしていることがわかったこと。何かの会員権の購入と、悪徳商法の一つと思われる帝王学セミナーの会費支払いにローンを組み、督促状が届き始めたのです。それに気づいた時、ショックで神経がおかしくなり、4科目まで合格していた税理士試験も受けられなくなりました。最後の5科目目の受験1ヵ月前のことでした。

精神的に折れた私に、夫は「子どものことは任せていたんだから、お前が悪い」の一点張り。家の中はグチャグチャになり、私は心療内科に1年通いましたが症状は改善されず、先生が「家庭状況を聞きたい」と夫を呼び出してくれて、続く1年は夫婦でカウンセリングを受けました。でも「いつも俺一人が一方向的に悪いと責められる」と、1年後には夫は通うのを止めてしまいました。

その時です。「夫の定年退職を待って離婚しよう」と決意したのは。離婚を口にした段階で夫は「稼ぎもないのに何をたわけたことを言っている。家庭内別居でもかまわない、家政婦として雇ってやる」と暴言を吐きました。私は夫の身の回りのことが一切できなくなり、食事の仕度をするのも吐き戻すようになったので、割り切って家政婦さんを頼み、一緒に家事をこなすという変則的な家庭内離婚のような生活に入りました。

そして、その1年後に夫は会社をクビになったのです。夫は「申し訳ない」と初めて頭を下げました。私は即、「いいんです。そのかわり離婚して下さい」と切り出し、夫も自分に非があるわけですから、すんなり応じてくれました。

### ◎布石を打って、円満離婚

ここからは、円満離婚したと言ってもよいのではないのでしょうか。社宅から出て行く互いの引越しも、家族全員で手伝いました。



# 告知板

★お世話係さんから寄せられた近況報告です。  
●近々の会合やイベントのお知らせです。  
※申し込みや問い合わせ方法です (8ページへ続く)

大阪:

概

## 大阪ニコニコ離婚講座

原則、午後1時半～午後4時半まで、ドーンセンター(大阪市中央区大手前1-3-49 電06-6910-8500)で。参加費は、講座:1500円、ミニ講座:500円

●1月27日(土)

テーマ:「女性に関係ある税金の話」

講師:税理士 石田和子さん

財産分与にかかる税は? 夫の扶養を外れたら税金は? etc. 知っておきたい税金の話、確定申告の前に学習してみましょう

●2月24日(土)テーマ:「法律の話」-DV関係の話・支援策

講師:弁護士 段林 和江さん

法律講座ですが、離婚に関する一般論とあわせて、DV被害者の支援に関する法律や相談機関等、行政の体制などもお話し頂きます

例 会

原則、奇数月の第4土曜日の午後、竹川法律事務所(大阪市淀川区西宮原1-4-15-602 電06-6393-1331)、またはドーンセンター小会議室にて。変更の可能性があるのでハンド誌でご確認を。

●1月27日(土)午後6時～ ドーンセンター小会議室(1&2)

午後の講座修了後、同じドーンセンターで例会を開催の予定です。どちらか一方だ

けの参加もOK

★大阪での活動が20年を越えて、メンバーの間でも、自分のシニアライフ計画を意識する時期になりました。そんな時期に一人のメンバーの訃報が入りました。年金分割を頼みの綱として離婚し、これから自身自身の為の人生を歩きだそうと、「年金分割」講座を楽しみにしていたのに、当日参加されなかったのが気になり、様子を尋ねて貰った。皮肉にもその日に亡くなられていたことが分かりました。末期癌であったということですが、即日入院の後1ヶ月も経たないうちの旅立ちは、兵糧攻めの最中で受診が遅れたのではなかったのかと、心が痛みます。

自身が病んで入院中のメンバーもあります。子どもさんを通じて連絡を試みていますが返信はありません。仲間で力になれることがあればとの思いが通じないのです。何か出来ることはないのかという自問と、無念の思いで現実を受け止めるしかないのです。それぞれ個別の事情は違うでしょうし、グループのメンバーであっても関わりきれないことがあることは十分承知していますが、一人ひとりが、「思いを残すことのない生き方」をしなければと痛感しています。

せめて自分自身はしっかり意識して、この1年を過ごしたいと思います。

## 〈特別企画〉『ベトウ法』を学びませんか

今まで「ベトウ法」について何も知らなかった私ですが、昨夏のハンドインハンドの東京合宿で、加藤みどりさんから直接お話を伺って、感銘を受けました。

「ベトウ法」の詳しい説明は、ハンド誌231号(11/1号)をご参照下さい。

加齢と共に身体に不自由を感じるようになり、程度の差こそあれ誰もが支援を受ける立場になるときがやってきます。支援を受ける側も、知識やしっかりした意識があれば、自らが望む介護や支援を自分で決めることができ、Quality of Life を追求し、残存能力を維持活用出来るのではないのでしょうか。

「ベトウ法」を学ぶことは、介護や理学療法に直接関わる人は勿論、仕事で関係のない人にもきっと参考になると思います。周りの方にも声をおかけください。

宿泊の準備もしていますので、遠方の方でも参加可能。お忙しい方は、新大阪から約1時間のところですので、講座修了後日帰りも十分可能です。

記

◎日 時:2007年2月10日(土)～11日(日)

2/10午後:ベトウ法についてのお話(ビデオ併用)

講師 加藤みどりさん(ケアマネジャー・介護福祉士)

夜:懇親会(分科会) 宿泊

◎場 所:神戸市立 神戸セミナーハウス

兵庫県神戸市北区道場町生野字ロクゴ318-2 電.078-985-4391

◎参加費:1万円くらいを予定 [宿泊費(1泊2食)・懇親会費・連絡費用を含む]

◎予約の都合で、申し込みはメールまたはFAXで1月10日(水)までお願いします。参加申し込みをされた方には、詳細のご案内を差し上げます。

それまでに弁護士に相談・確認をしたり、布石は打っておきましたから、財産はしっかり半分にしてくれ、おかげでさほど憎しみも残っていません。二人の息子同士が話し合って「父さんと母さんはいま精神的にたいへんだから、2年間は傍にいます」と、当時27歳の長男が私と、25歳の次男が「僕は母さんの今までのやり方は嫌いだ」と言って夫と暮らすことを選びました。

長男も「父さんは優しい人、母さんは厳格な人」と常々言っています。夫は何故にも情が先立ち、実印を不用意に押したり、部下の借金を立替えたりする、俗に言う「いい人」です。私のほうは、何が行動を起こすときは納得がいくまで調べ、慎重に準備を重ねてからでないと動きません。離婚後、2年間はアパート暮らしでしたが、いまのマンションを購入する際も、インターネット検索で物件を相当数探して内覧し、「女が一人でマンションを買う方法」という本を片手に自分でできるチェックは全部行い、区役所の土木課で地盤の状況も調べ、最後は少しお金を出してプロに建物の構造チェックをしてもらってから購入を決め、契約の際には勉強のためと思って子どもたちにも立ち合わせました。

長男は昨年4月に結婚して住居を構え、気楽な一人暮らしが始まっています。

## ◎これからが自分の人生

離婚後、人、こと、共によい出会いがたくさんあったと感じています。鬱症との付き合い方のコツも覚え、薬漬けはイヤですから、気持ちを切り替える方法を自分なりにたくさん持つようにしています。テニスや読書、編み物は定番の趣味、フリーマーケットでのお得な買い物も得意で、お金をかけずに上手に遊ぶ方法をたくさん体得しました。

就職時には経理職でとの約束が履行されないままだった仕事を昨年の5月に辞め、現在、就職活動をしています。今度こそは、資格を生かしての経理職が希望。でも、今までみたいにシャカリキにならないで、少し落とした働き方もいいかな、と思えるようになりました。

50歳以降から行き始めた海外旅行の楽しさにも目覚め、今年は英会話ももう少し上達したいなと思っています。気の合う旅友たちができれば最高ですね。

何が行動を起こせば、いろんな出会いがある。これからが私の人生です。

★肩の力が抜けると、不思議とたくさんの出会いがやってくるものですね。素敵な2007年になりますように。(円より子)

# 告知板

●近々の会合やイベントのお知らせです。

※申し込みや問い合わせ方法です

★お世話係さんから寄せられた「2007年の抱負」や近況報告です。



事務局便り

○昨年末に開催された「第5回恋愛文学コンテスト」で受賞され、その作品が掲載された本が出版されたというお知らせが届きました。受賞・応募作品から26人の愛のコトバを収めた短編集。愛のコトバの魔法にかかって、優しく素直な気持ちになってみませんか。※『愛ノコトバ 私の恋愛短編集10』新風舎・1,995円(税込)

「愛ノコトバ 私の恋愛短編集10」は、第5回恋愛文学コンテストで受賞された作品を集めた短編集です。愛のコトバの魔法にかかって、優しく素直な気持ちになってみませんか。※『愛ノコトバ 私の恋愛短編集10』新風舎・1,995円(税込)

「愛ノコトバ 私の恋愛短編集10」は、第5回恋愛文学コンテストで受賞された作品を集めた短編集です。愛のコトバの魔法にかかって、優しく素直な気持ちになってみませんか。※『愛ノコトバ 私の恋愛短編集10』新風舎・1,995円(税込)

東京:

恒&麻  
携帯

●1月20日、2月17日(土)18:00~21:00に麹町付近で集まります。

※参加希望者は2日前までにご連絡を。

★昨年11月にハングル能力試験の3級を受けました。不合格でも合格でも、今年は2級を受けようと勉強中です。



●会員の さんのお嬢さん さんが、「第5回恋愛文学コンテスト」で受賞され、その作品が掲載された本が出版されたというお知らせが届きました。

受賞・応募作品から26人の愛のコトバを収めた短編集。

愛のコトバの魔法にかかって、優しく素直な気持ちになってみませんか。

※『愛ノコトバ 私の恋愛短編集10』

新風舎・1,995円(税込)



香川:

恒 (夜8時以降)

●1月6日(土曜日)午後2時より。

日野家で茶話会を開きます。

※出席の方は事前にお電話ください。

★お金のない人、歳をとった人、ハンディキャップのある人などをとんとん置き去りにし、企業を保護し、文句を言う力を抑えるために、お上が民を縛ることになりそうな法律が目白押し。人は何のために生まれてきたか…つぶしたり、殺したりするためではなく、伸ばし、生かし、そして生きるため、と思います。自分の選択が、どちらの結果を呼ぼうとしているかを吟味し、行動できる人だけになれば、いじめや、いじめの究極の形の戦争もなくなるはずなのですが。

福岡:北九州の会:

恒&麻  
メール

★「お世話役を引退します」。

実は私、昨年末に二度目の腫瘍摘出手術をしました。日常使っている物に入っている有害な化学物質や、野菜の農薬で、自然や身体に害をおよぼし、アトピー、癌、その他の病気が増えたのを知っていましたが、自分が二度の腫瘍摘出手術をすると、さすが怖くなりました。そこで、まだ農薬などで汚れていないところを探し、自分で野菜などを作って生活しようと思い、今土地を探しています。母のこともありますので、なかなかスムーズにはいきませんが、できるだけ早く見つけて引っ越そうと思っています

ので、この度、北九州の世話役を引退しようと思います。何もできませんでしたが、永い間ありがとうございました。

ハンドの会を脱会するつもりはありませんので、これからもお付き合いはよろしく願っています。

★「安全な洗剤に興味のある方へ」。

自分なりに日常使うもので安全なものを探し、川や海を汚染せず、食べても大丈夫な洗剤を見つけました。私は、お洗濯から歯磨きまで、この洗剤を使っています。ぜひ、この洗剤を広げたいと思っています。アトピーやアレルギーのある方でも大丈夫です。興味のある方は、電話やメールにご連絡ください。

愛知: WITH:

恒  
メール

●愛知の会は名前を「WITH」と称し、2ヶ月に1度、会合やセミナーを開いています。1月今年の第1回目の会合は1月半ばを予定していますので、電話かメールでお問い合わせ下さい。

★離婚されて子供もなくひとり暮らしの70才過ぎの方から「年金もなく、貯えも減りこの先を考えると家を売って安い市

営住宅に入るしかない。役所に行ったけど……生活保護を、と言われた」と聞きました。

ところが、土地付の自分名義の持ち家がれば「長期生活支援資金貸付制度」という制度ができて、家を担保に月に30万まで借りれるのです。

今、この制度でなんとか最後の日までこの方が自宅で暮らせないか……と考えているところです。いつか自分の身にも起こることなので、他人事ではありません。

各地のお世話係

仙台

埼玉

埼玉

静岡

広島

福岡

熊本

大分

長崎

★一人で悩まず、気軽にお電話ください★

離婚と母子の110番 恒03-3261-1835

●基本的に毎土曜日:13~17時

※研修を受けた相談員が「無料」で相談を受けています。

面接相談

●原則 第1・第3土曜日:14時~15時半~

※料金:5,000円/50分(ただし2日前の木曜以降のキャンセルは、キャンセル料2,500円がかかります)

※1月は20日、2月は3、17日を予定しています。

※お気軽に事務局(恒03-3261-1835)までお電話ください。

<購読料について>

購読料は次のいずれか。自己管理のもと、期限切れの際にお振込みください。

①1年間3,600円(送料共) ②2年間まとめて前払いの場合、7,200円を6,000円に。 ③出世払い もしくは免除(どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出て下さい)

[振込先] 各地の郵便局にて00140-6-120542 ハンド・イン・ハンドの会

ハンドからみなさんへ発信

現代家族問題研究所: <http://www.gendai-kazoku.jp>

円より子ネット: <http://www.madoka-yoriko.jp>

ニコニコ離婚ネット: <http://www.nikoniko-rikon.net>